

『ヘッポコの雲の平縦走報告』

2018.09 菅野靖司

秋の紅葉を雲の平に求め小屋閉め前の週に雨を覚悟で友人と入山しました。

4泊5日の大装備担ぎの山行でしたが、毎日バンテリンを塗りアミノバイタルを飲み頑張りました。

9月21日（金）雨 折立⇒太郎小屋⇒薬師峠テント場

天気予報通り雨！さすがに入山から雨だとテンションがダダ下がり。天候により縦走ルートを変更出来る様に時計回り反時計回りの計画書を持ち折立から入山。小雨降る中テント設営、天気予報を確認し反時計回りの黒部五郎岳側から周り事に決め就寝

9月22日（土）雨のち晴れ 薬師テント場⇒太郎小屋⇒北ノ俣岳⇒黒部五郎岳⇒黒部五郎小屋

早朝から土砂降り、天気予報の昼過ぎには晴れる。との予定に合わせ、昼に黒部五郎岳到着となる様に出発。ずぶ濡れの3人用テントがズシリと重い。コース時間通りに北ノ俣岳に到着。黒部五郎岳まで後3時間！雨で登山道は、川状態でした。体が冷えるので水分補給のみの休み無しで歩きました。天気予報通り、黒部五郎岳に到着した時には晴れ！『雲の平のパノラマ絶景』が、私達を歓迎してくれました。

さすがに、土砂降り雨の中の5時間山行は、女性には相当キツかった様で、気持ちよさそうに『お昼寝！』してました。登頂成功をコーヒーとスイーツでお祝いし、カールの紅葉を見ながら黒部五郎小屋まで下山

9月23日（日）晴れ 黒部五郎小屋⇒三俣蓮華岳⇒鷲羽岳⇒祖父岳⇒雲ノ平キャンプ場

早朝、星空が見えていたので星撮りをして出発！天気もいと会話も弾み楽しい山行です。

三俣蓮華岳頂上でも、お約束のコーヒーとスイーツを食べながら、今日のゴール地点、雲の平を確認。

三俣山荘で水補給をして出発。鷲羽岳途中で見える、鷲羽池槍ヶ岳の眺めは絶景でした。

お約束のコーヒータイムをのんびり頂上で過ごし、雲の平キャンプ場に夕方到着。しかし、キャンプ場から雲の平小屋まで片道25分は、遠過ぎだよ！と文句を言いながら神奈川から来た男性と談笑して就寝

9月24日（月）曇り時々晴れ 雲の平⇒薬師沢小屋⇒太郎平小屋⇒薬師岳⇒薬師峠キャンプ場

明日の予報は雨。今日中に薬師岳に登る計画に変更し早めに出発！紅葉に染まった祖母岳を後に薬師沢小屋に到着。太郎平小屋までは、稜線の紅葉を楽しみながらのゆっくり歩行しました。薬師岳山頂で今回最後のコーヒータイム！少しガスが掛かり風も強かったのが残念でした。

来年は、立山から薬師岳の縦走をしよう！と、計画を練りながら下山しました。

9月25日(火) 雨 薬師峠キャンプ場⇒太郎小屋⇒折立

予報通り雨！温泉の開始時間に合わせて下山。臭い体を国民宿舎白樺ハイツで流し、登頂お祝いを富山市のステーションで行い山行終了！来年は、天候に恵まれます様にパチ”パチ”



岩手山 登山教室

第二日目(9/16) 参加者 17名(生徒6名 会員11名)

報告者：野地 敦雄

八合目避難小屋4時起床、5時行動開始。大和田SL以下全11名が朝の山頂お鉢廻りに臨んだ。内5名は昨日を含め二日連続のお鉢廻り。雲海からの朝日、モルゲンロートに染まる正面の鬼ヶ城、不動平避難小屋の風景は刻一刻とドラマチックに山々の色を変え新鮮な感動を与える。ザレ場を超えてからの稜線上は、昨日同様素晴らしい360度の眺望が得られた。昨日ガスで見渡せなかった八幡平方面の湿原もはっきりと望め松川温泉の湯けむりもしっかりと確認できた。

小屋に戻り、朝食を手早く終わらせAM7:10に下山開始。

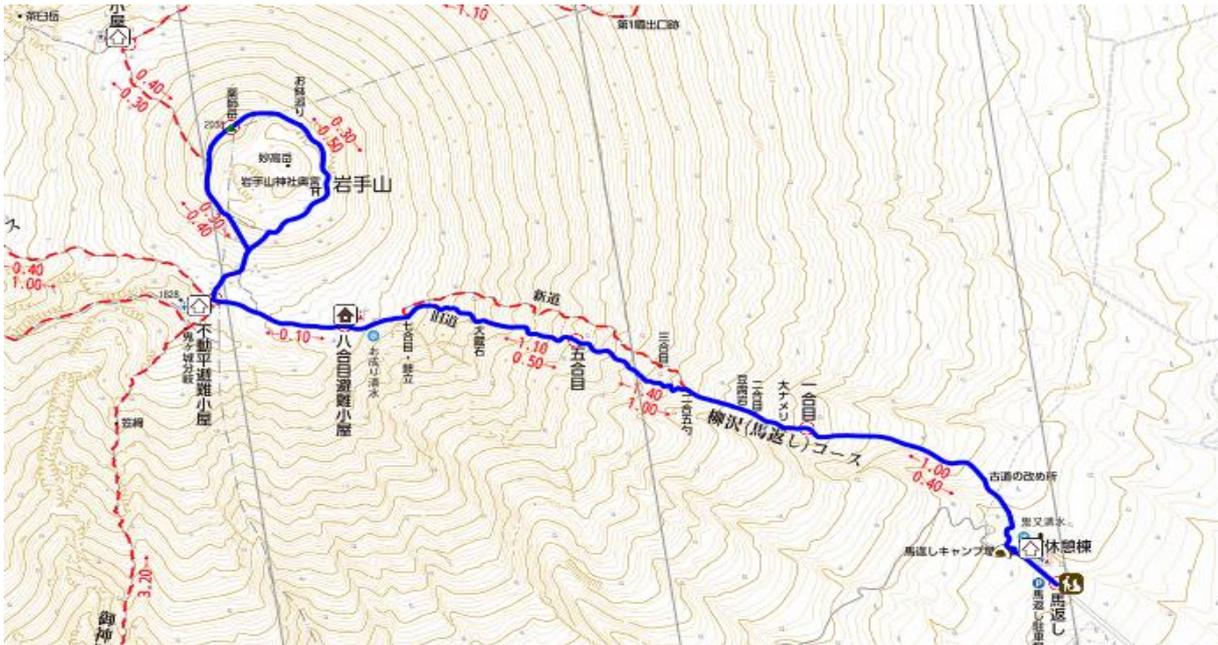
下山は急登のガレ場が続く旧道を選択し足元へ神経をめぐらせ注意深く歩を進めた。終始眺望を得ながらの下山路であり快適な気分であった。また、途中で足をとられながらも全員無事登山口まで予定通りの時間で下りる事が出来、全てに満足の下山となった。

何より天候に感謝、山行直前に行き先を急遽変更した<秋葉校長の判断>に感謝である。

満足度あふれる疲れは、源泉かけ流し「おらほの湯」の入浴で心地良く洗い流し、その後「道の駅にしね」で食事をとり、17:30いわき合庁着となった。

コースタイム

八合目避難小屋5:00 →5:55山頂 →6:30八合目避難小屋7:10 →8:20旧登山道五合目8:25
→ 10:15馬坂キャンプ場



モルゲンロートに染まる八合目避難小屋



五合目付近

会津駒ヶ岳 (2133m)

平成 30 年 10 月 14 日 (日) 天候予想 山ランク B

山行参加メンバー (18 名) 太、菅野、志尾崎、山本、志尾崎、根本、松崎、柏村、二瓶、石城登山教室
生徒 8 名 + 斎藤。

石城登山教室の 10 月実技山行は、会津駒ヶ岳で早朝 4 時にいわき合同庁舎駐車場を出発。

当初、天気は、午前中から雨の予報でしたが、さすが晴れ男、晴れ女現地へ到着すると時折青空も見られました。チームは、ウサギさんチームとカメさんチームでスタートし、途中でマップとコンパスを活用しての現在地の求め方や山を楽しむための山行プランの立て方、膝に負担のこない昇降時の歩き方など、とても勉強になる参考 (山行) となりました。また、駒ノ小屋では、木道作業員に間違われた沢専のボヤキも聞かされ、楽しい一時が過ごせました。また山頂からは、7 月山行の田代山、帝釈山も眺められ感激でした。下りで某 N 会員さんの腕となっていたストックを痛めたほかは、皆無事に下山出来て、ウサギさんリーダーの菅野 CL とかめさんリーダーの太 CL (決して体型ではありません) に感謝

です。

また今回の山行の立役者は、なんといっても往復の運転（特に帰りは雨の中）及び心配で水場まで付いてきていただいた秋葉さんのおかげですね。感謝！感謝！です。

コースタイム 10月14日（日）いわき合同庁舎 4：00⇒林道入口 7：30⇒滝沢登山口 8：05⇒水場入口 9：25⇒駒ノ小屋 11：15⇒駒ヶ岳山頂 11：40⇒昼食 12：10⇒駒ノ小屋 12：30⇒水場入口 13：30⇒滝沢登山口 14：45⇒林道入口 15：20⇒燧の湯 15：45⇒帰路出発 16：15⇒いわき合同庁舎 19：50

（文責 赤塚）

甲斐駒ヶ岳 黒戸尾根コース

2018年10月6日（水）～8日 秋葉、太

10月6～8日に予定した「下の廊下」が台風の影響で中止のため、同じ日程を使って日本三大急登のひとつ「甲斐駒ヶ岳」黒戸尾根を登った。

初日6日は移動と前泊。11時にいわき市常磐を出発し、16時25分「道の駅はくしゅう」に到着。隣接するスーパーにて食糧を調達。17時に皇太子登山記念碑の建つ市営駐車場に到着。17時30分 駐車場奥の白州観光尾白キャンプ場に移動してテント泊。



10月7日6時、登山を開始。竹宇駒ヶ岳神社の脇、尾白川に架かる吊橋を渡ると登山道。いくつかの細尾根、クサリ場、ハシゴに、一か所の橋を越え、13時33分に七丈小屋に到着。第二小屋の宿泊者用テラスで目の前に鳳凰三山を眺めながらビールを飲み、贅沢なひと時を過ごす。16時30分、食堂へと案内。夕食のカレーライスはおかわり自由。エビフライ、ポテト

サラダ等も付いた。食事後は小屋に戻り明日に備えて早めに就寝。

翌10月8日は4時に起床。まだ暗い七丈小屋を出発。ザックをデポせず頂上を目指す。5時26分、八合目御来迎場に到着。5時50分、雲海から昇った朝日が頂上を赤く染める。

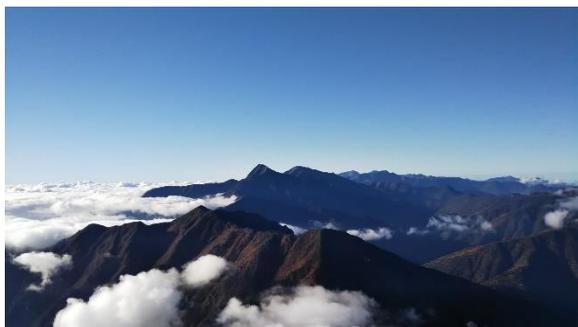
7時8分に山頂。素晴らしく快晴。雲海の上に中央アルプス、北アルプスが浮かぶ。近くの鋸岳、仙丈ヶ岳、鳳凰三山、北岳はもとより、富士山、八ヶ岳、御嶽山、恵那山など、ぐるり遠くまで見える。

絶景を堪能した後、下山を開始。八合目まで下るあたりから霧が上昇、見上げると頂上は霞んでいた。8時55分、七丈小屋に到着。あれほど見えていた鳳凰三山が霧で見えない。水を補給して再び下る。前日に通ったルートながら、長い距離と大きな高低差を改めて実感。



13時45分、市営駐車場に到着して無事下山。

近隣の「尾白の湯」にて入浴後、中央道、上信越道、北関東道、常磐道を経由し、20時45分いわき市常磐に帰着。



コースタイム

10月7日

6：00 駐車場→6：18 竹宇駒ヶ岳神社→6：36 尾白川溪谷分岐→8：26 笹ノ平分岐→8：52 駒ヶ岳黒龍神→10：15 刃渡り→10：40 刀利天狗→11：35 五合目小屋跡→12：05 屏風岩→12：35 橋→12：43 白山不動明王→13：33 七丈小屋

10月8日

4：00 七丈小屋→5：30 八合目御来迎場→7：00 駒ヶ岳神社本社→7：08 山頂
→8：55 七丈小屋→9：20 橋→9：49 屏風岩→9：55 五合目小屋跡→10：35 刀利天狗→11：40 駒ヶ岳黒龍神→12：00 笹ノ平分岐→13：20 尾白川溪谷分岐→13：35 竹宇駒ヶ岳神社→13：45 駐車場

(文責：太)

『ヘッポコの仙丈ヶ岳甲斐駒ヶ岳、狂行山行？』

2018.10 菅野靖司

台風を避ける為、場所を南アルプスに絞り8日(月)の星空を期待して山に入りました。

10月6日(土) 晴れ 長衛小屋⇒小仙丈ヶ岳⇒仙丈ヶ岳⇒馬の背ヒュッテ⇒大平山荘⇒長衛小屋
始発5：30のバスに乗り、いざ北沢峠へ。連休なので100張りのテント場がほぼ一杯でした。
テント設営後、早速仙丈ヶ岳へ。小仙丈ヶ岳から紅葉に染まった甲斐駒ヶ岳がとても綺麗でした。
8日の星空撮影場所を小仙丈ヶ岳と決め仙丈ヶ岳へ。小学生を連れた親御さん達も多く登っていました。

仙丈ヶ岳では、1時間ほどコーヒータイムを取りながらガスが晴れるのを待ちましたが晴れず！
またしても、霧の中でした。すぐ下の小仙丈ヶ岳は晴れているのに、残念。頂上付近の紅葉は終わり
山腹の紅葉を見に大平山荘側へ下山しました。藪沢大滝辺りから紅葉が見られました。大平山荘近くの
ダケカンバの黄色が見事でした。

10月7日(日) 晴れのち曇り

長衛小屋⇒仙水峠⇒駒津峰⇒甲斐駒ヶ岳⇒六合目小屋⇒ 甲斐駒ヶ岳⇒駒津峰⇒双児山⇒北沢峠⇒長衛
小屋

前線の通過に伴い午前中まで強風との天気予報が出ていたので、昼頃に甲斐駒ヶ岳山頂到着に合わせて
テン場を出発。仙水峠手前のガレ場から見る、ガレ場/松/紅葉/青空の4段紅葉がとても綺麗でした。

駒津峰では、まだ風が強くアウターをプラスして、甲斐駒ヶ岳へ。昨年の12月以来の頂上です。今回は、次回計画する鋸岳（鹿の窓）山行への下見を兼ね六合目小屋まで下山。この水場は水量が少なく晴天が続いた後は、枯れていると思われるぐらいの水量です。

10月8日（月）晴れ 長衛小屋⇒小仙丈ヶ岳⇒仙丈ヶ岳⇒小仙丈⇒長衛小屋⇒北沢峠
深夜に夜空を見上げれば星空！予定通り小仙丈ヶ岳へ向け出発。深夜の登山道を一人で登るのは、さすがに超淋しい、熊さんに出会わない事だけを祈りながら頂上へ。
小仙丈ヶ岳では、360度、雲ひとつ無い『天空のパノラマ』が迎えてくれました。リアルプラネタリウムの光景です。見とれていたら30分経過。慌ててカメラをセットし甲斐駒ヶ岳のタイムラプス動画撮影開始。
御来光前の月の出と御来光を観て仙丈ヶ岳へ移動。3度目にして初めての頂上からのパノラマです。雲海の向こうに見えるアルプスの峰々が神々しいです。東には、富士山・北岳・間ノ岳の日本山岳123のそろい踏みです。お決まりの頂上スイーツ＆コーヒーを頂き下山しました。



11時の仙丈荘行きのバスに飛び乗り山を後にしました。今年の冬来ようかなあ〜。

小仙丈ヶ岳からの星空は、まさに絶景でした。表現する言葉が無いです。



今回の山行で『**絶景は、記録する物ではなく、記憶する物**』だと言う事を体感しました。

絶景記憶のクライマーハイのアドレナリンの出かたは凄く、21時自宅に到着するまで興奮状態。



ノンストップで帰宅出来たほどです。次は、仙丈ヶ岳から日本123の山と星空が見たい！



「妙義山」

2018年10月1日～2日(月・火)

山名 妙義山

参加者 秋葉、下山田、栗崎(透)、栗崎(容) 計4名

10/1・2の月、火、当初の予定は山形神室だったが、台風24号の影響で東北は微妙。そこで、秋葉さんの判断で群馬の妙義山に決定。

1日目。裏妙義。

国民宿舎跡から丁須の頭(ちょうすのかしら)ピストン。

きのうまでの台風の影響で、歩き始めから水量たっぷりの渡渉。

なんとか渡るも、その後も基本は沢を詰めるような登山道で、渡渉と大岩ゴロゴロの楽しい道。

大岩に二段、8mの鎖やゴルジュ地形に続く長い鎖場を詰めると籠沢の科尔。

この後もいやらしいトラバースや二連の鎖場を経て、丁須の頭の直下に到着。

最後の鎖で丁須の頭に登頂。

ここで昼食後、来た道に戻る。

道の駅みょうぎにて、宴会&車中泊。



2日目。表妙義。

国民宿舎跡から相馬岳周回。

裏から表妙義最高点の相馬岳を目指す。



尾根に出るまではいきなりの急登。

木立の尾根道を歩き、左にカーブすると見晴。

登り始めの国民宿舎ときのうの裏妙義がでかい。

すぐに、岩峰基部の岩穴から相馬岳北部の奇景を望む。

この後は、鎖場が続く細い岩稜の尾根が続く。

40mの鎖で岩峰を登って主稜線に出る。



稜線を 20 分で相馬岳登頂。



ここからは、何度も渡渉を繰り返すが、普通の登山道らしい。

林道に出て、国民宿舎に戻る。

どちらも、1000m ちょっとの標高だが、山と高原地図では全て破線の登山道でした。

槍よりも剣よりも険しいところがある、技術が試される山でした。



<https://blogs.yahoo.co.jp/cordonjpfs/64691607.html>

表妙義の最高峰・相馬岳へ!

<https://blogs.yahoo.co.jp/cordonjpfs/64695475.html>

稜線を先ほどの分岐まで戻り、ここからは茨尾根(ばらおね)をたどる。

鎖や木の根をつかみ、崖を登る。

ニヶ所、30m のロープを出して、懸垂下降。

その後も何度かの攀じ登りや鎖トラバース有り。

女坂分岐にたどり着き、ホッとする。



とても楽しい山をありがとうございました。(文責 栗崎 透)

☆ 相方の栗崎容子が、拙ブログ「シェフとマダム」の雑記で山行のレポをアップしています。良かったら覗いてみてください。

裏妙義のシンボル・丁須の頭へ!